

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	LICGROW 緑が丘西教室		
○保護者評価実施期間	2026年 1月 27日		2026年 2月 14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども一人ひとりの特性や発達段階に応じた支援を大切に、少人数活動や集団活動を組み合わせながら、安心して過ごせる環境づくりを行っています。今後も個性を重視した支援の充実を図っていきます。	子どもの特性や状況に応じて、活動スペースの使い分けや少人数での活動を取り入れ、落ち着いて過ごせる環境づくりを意識しています。	体験活動や日常生活の中での学びを大切に、子どもたちが社会性や自立につながる経験を積めるよう支援している点が強みとなっています。
2	様々な経験を持つ職員が在籍しており、それぞれの知識や経験を活かした多角的な視点で支援を行っていることが強みとなっています。	職員間で日々の支援内容や子どもの様子を共有し、より良い関わり方について話し合いながら支援方法の改善に取り組んでいます。	子どもが成功体験を積み重ねられるよう、無理のない目標設定を行いながらも、子どもたちの可能性を信じ、活動内容を工夫しています。
3	体験活動や日常生活の中での学びを大切に、子どもたちが社会性や自立につながる経験を積めるよう支援しています。今後も多様な活動を取り入れながら、子どもたちの成長を支える支援を強化していきます。	職員の専門性向上を目的とした研修や情報共有を進め、支援に関する知識や技術の向上を図っていきます。	地域資源や体験活動を取り入れながら、子どもが様々な経験を通して成長できる機会を増やしていきます。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	感覚統合療育に対して更なる知識習得と経験の積み重ね。	指導員全員が感覚統合基礎研修を受講し、療育活動に取り入れ始めた。次年度は指導員のスキル向上と療育への反映、保護者への共有をしていきたい。	感覚統合に関する知識を習得するための研修を受講する。活動プログラム一つひとつの目的を明確にする事により療育活動の質を高める。
2	保護者への情報共有が十分でないと感じられる場合がある。	日々の支援記録や送迎対応など業務が多く、保護者への説明や共有の時間が十分に確保できない場合がある。	HUGなどのICTツールを活用しながら支援内容の共有を充実させるとともに、保護者との面談や連絡の機会を増やしていく。
3	活動スペースの使い方や環境設定について、より工夫できる余地がある。	利用人数や活動内容によりスペースの使い方が変化するため、環境調整が十分にできない場合がある。	活動ごとのスペースの使い分けや環境整備を行い、子どもが安心して活動できる環境づくりを進めていく。